

平成29年度

事業報告

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

公益財団法人 名古屋国際芸術文化交流財団
(名古屋ボストン美術館運営財団)

内容

| | |
|--|----|
| はじめにー活動の概要ー | 1 |
| 沿革 | 2 |
| I. 展覧会事業 | 3 |
| (1) 「三菱東京UFJ銀行貨幣資料館所蔵 歌川広重 東海道五拾三次展」 | 3 |
| (2) 第40回展 「ボストン美術館 パリジェンヌ展 ー時代を映す女性たち」 | 4 |
| (3) 第41回展 「ボストン美術館浮世絵名品展 鈴木春信」 | 5 |
| (4) 第42回展 「ボストン美術館の至宝展 ー東西の名品、珠玉のコレクション」 | 6 |
| II. 教育普及・情報提供事業 | 7 |
| 1. 印刷物 | 7 |
| 2. 制作物 | 8 |
| 3. 講演会・関連イベント | 8 |
| 4. 学芸員によるミニ・レクチャー | 10 |
| 5. 大学・その他との連携事業 | 10 |
| 6. ボストン美術館との共同教育プログラム（日米アート交流プログラム） | 10 |
| 7. ボストン美術館芸術大学（SMFA）との交流 | 10 |
| 8. レクチャー、学校教員研修会への協力 | 11 |
| 9. 資料交換 | 11 |
| 10. 広報・販売促進 イベント | 12 |
| 11. その他情報提供事業 | 14 |
| III. メンバー及び法人賛助会の状況 | 15 |
| 1. 個人メンバーシップ | 15 |
| 2. 法人賛助会員 | 15 |
| 3. 学校法人賛助会 | 15 |
| 4. 高校生の一部無料化 | 15 |
| IV. 企画展検討委員会 | 16 |
| V. ミュージアムショップ事業 | 17 |
| VI. 展覧会入場者数 | 18 |
| VII. 組織等の状況 | 18 |
| 1. 組織図 | 18 |
| 2. 顧問・評議員・役員 | 19 |
| 3. 職員 | 20 |
| 4. 評議員・役員の異動 | 20 |
| 5. 職員の異動 | 21 |
| 6. 評議員会・理事会開催状況 | 21 |
| 附属明細書について | 22 |

はじめにー活動の概要ー

名古屋ボストン美術館に対しまして多大なるご支援とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。これもひとえに愛知県民、名古屋市民、そして評議員・理事・監事をはじめ多くの方々のご支援の賜物であり、心から感謝を申し上げます。

さて、平成 29 年度の事業報告を総括しますと、今年度は 4 つの展覧会を開催し、年間の来館者目標 14 万 5 千人に対し約 12 万 5 千人の実績となり、目標比マイナス約 2 万人となりました。

一方経費面に関しては、引き続き節減等の努力を継続しており、従来の長期収支計画に沿った堅実な財務運営を維持しています。

まず、平成 28 年度から継続して開催した「三菱東京UFJ銀行貨幣資料館所蔵 歌川広重 東海道五拾三次展」では、三菱東京UFJ銀行貨幣資料館所蔵の貴重な浮世絵コレクションの中から、浮世絵師・歌川広重「東海道五拾三次」のシリーズを紹介し、保永堂版全 55 点と類作の行書、隸書、堅絵東海道から東海地方を中心とした作品を加えた 75 点で「東海道五拾三次」をたどりました。会期中は摺りの実演などのイベントを開催し、当年度内で目標を上回る約 2 万 2 千人の来館者が訪れ、改めてこの地域での広重東海道の人気の高さを大きくうかがわせる結果となりました。

次に、6 月初旬から 10 月中旬まで開催した「ボストン美術館 パリジェンヌ展 ー時代を映す女性たち」では、「パリジェンヌに憧れるのは、なぜ？」をテーマに、ドレスや靴といったファッション、マネやルノワールが描いた肖像、映画や舞台上で活躍した女優やダンサーの写真などボストン美術館の所蔵品約 120 点によって、パリという都市を体現してきた女性の姿の変遷をたどり、18 世紀ロココの時代から 20 世紀まで、時代の最先端を歩んできたパリジェンヌの魅力を探りました。また本展のためにマネの大作《街の歌い手》が 70 年ぶりに修復され、初公開となりました。会期中は、講演会、パリジェンヌなりきりコーナー、ワークショップ、写真撮影付きプレミアム鑑賞会など多くのイベントを開催し約 5 万 1 千人の来館者を集め、その後平成 29 年度中に世田谷美術館、平成 30 年度中に広島県立美術館に巡回します。

11 月初旬から翌年 1 月下旬まで開催した「ボストン美術館浮世絵名品展 鈴木春信」では、錦絵創始期の第一人者として活躍した浮世絵師・鈴木春信の作品を、量・質ともに世界最高の浮世絵コレクションを誇るボストン美術館の所蔵品より、選りすぐりの作品約 150 点で紹介しました。春信は、若い恋人たち、母と子、さりげない日常、古典主題から発想された見立絵・やつし絵など、小さな画面の中に詩的で洗練されたイメージを豊かに表現し、また江戸の評判娘や名所を主題に取り入れ、錦絵の大衆化にも貢献しました。春信は現存する作品の 8 割以上が海外に所蔵され、日本で展覧会を開催することが最も難しい浮世絵師といわれています。当館での会期中は講演会、キモノでジャック、摺りの実演会等、多くのイベントを開催し、初めて春信作品を見た方からも高い評価をいただきました。本展は千葉市美術館から当館を経て開催され、最終日までに約 3 万 2 千人の来館者を集め、その後、平成 30 年度中にあべのハルカス美術館、福岡市美術館へ巡回します。

続いて、2 月中旬から開催している「ボストン美術館の至宝展 ー東西の名品、珠玉のコレクション」は、名古屋ボストン美術館とボストン美術館 20 年間の交流の最後を飾る 2 つの展覧会の第 1 弾となります。この展覧会では、ボストン美術館が誇る約 50 万点のコレクションから、古代エジプト美術、中国美術、日本美術、フランス絵画、アメリカ絵画、版画・写真、現代美術の 7 分野にわたる珠玉の 80 点を紹介するとともに、コレクション形成に寄与した収集家たちの物語にもスポットを当てています。またゴッホが描いたジョゼフ・ルーランとルーラン夫妻の肖像画、モネの《睡蓮》、徽宗の《五色鸚鵡図巻》、初出品となる《ツタンカーメン王頭部》、英一蝶の巨大な《涅槃図》、ウォーホルの《ジャッキー》など、東西の名品を堪能することができます。本展は、平成 29 年度中に東京都美術館、神戸市立博物館を巡回し、当館にて 3 月末までに約 2 万人の来館者を集め、本年 7 月 1 日まで開催いたします。

当館は平成 30 年 10 月 8 日に閉館し、平成 31 年 3 月末をもってボストン美術館との 20 年間の契約を終了いたしますが、最後まで広報・営業推進活動を進め、県民市民の皆様にご満足いただけるよう、職員一同、最終展覧会の開催に向けて更なる努力をしてみたいと思います。皆様の一層のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

平成 30 年 5 月 公益財団法人 名古屋国際芸術文化交流財団
(名古屋ボストン美術館運営財団)

沿革

- 平成 3 年 10 月 名古屋商工会議所常議員会で、名古屋ボストン美術館設立プロジェクトの推進と設立準備委員会設置を決定
- 平成 3 年 11 月 第 1 回「名古屋ボストン美術館設立準備委員会」を開催、準備委員会委員長に加藤隆一名古屋商工会議所会頭（当時）を選任
- 平成 3 年 11 月 米国ボストン美術館と「名古屋ボストン美術館設立準備委員会」との間でレターオブインテント（覚書）調印
- 平成 4 年 4 月 小倉忠夫前京都国立近代美術館長が、準備委員会常任顧問に就任
- 平成 4 年 6 月 米国ボストン美術館が名古屋商工会議所・準備委員会に対して、同美術館振興に最も貢献した人に贈る称号「グレート・ベネファクター」を授与
- 平成 7 年 3 月 愛知県、名古屋市の本プロジェクトへの支援決定
- 平成 7 年 8 月 運営財団の設立発起人会組成 伊藤喜一郎を発起人代表に選出
- 平成 7 年 11 月 愛知県・愛知県教育委員会の許可を得て「財団法人名古屋国際芸術文化交流財団」設立、伊藤喜一郎発起人代表が初代理事長に就任
- 平成 7 年 12 月 小倉忠夫準備委員会常任顧問が名古屋ボストン美術館初代館長に就任
- 平成 7 年 12 月 米国ボストン美術館と当財団が名古屋ボストン美術館設立契約に正式調印
- 平成 8 年 2 月 「金山南ビル」の起工式実施
- 平成 10 年 10 月 名古屋ボストン美術館メンバーシップ制度発足
- 平成 10 年 11 月 名古屋ボストン美術館が入居する「金山南ビル」完成
- 平成 11 年 4 月 名古屋ボストン美術館開館
- 平成 12 年 1 月 法人賛助会員制度発足
- 平成 12 年 4 月 浅野徹名古屋芸術大学教授が第 2 代館長に就任
- 平成 12 年 5 月 徳光彰二理事が第 2 代理事長に就任
- 平成 13 年 2 月 愛知県教育委員会による博物館登録認可
- 平成 14 年 7 月 鈴木文雄理事が第 3 代理事長に就任
- 平成 15 年 1 月 山口静一埼玉大学名誉教授が第 3 代館長に就任
- 平成 16 年 4 月 中学生以下の無料化を実施
- 平成 17 年 3 月 小笠原日出男理事が第 4 代理事長に就任
- 平成 18 年 3 月 米国ボストン美術館と当財団との間で、平成 21 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの名古屋ボストン美術館の運営を規定する運営契約書を新たに締結
- 平成 18 年 10 月 馬場駿吉名古屋市立大学名誉教授が第 4 代館長に就任
- 平成 18 年 10 月 第 1 回企画展検討委員会を開催（以後平成 29 年 12 月まで計 19 回開催）
- 平成 19 年 4 月 学校法人賛助会制度スタート
- 平成 19 年 8 月 三菱商事アートシップ制度スタート
- 平成 21 年 4 月 新メンバーシップ制度スタート
- 平成 22 年 6 月 佐々和夫理事が第 5 代理事長に就任
- 平成 23 年 4 月 公益認定登記を行ない、公益財団法人に移行（佐々和夫理事長が初代評議員会長に就任）
- 平成 26 年 6 月 古角保評議員が第 2 代評議員会長に就任
- 平成 28 年 6 月 米国ボストン美術館との契約を平成 31 年 3 月 31 日をもって終了する旨を決定
- 平成 30 年 10 月 名古屋ボストン美術館閉館（予定）
- 平成 31 年 3 月 公益財団法人名古屋国際芸術文化交流財団解散（予定）

I. 展覧会事業

(1) 「三菱東京UFJ銀行貨幣資料館所蔵 歌川広重 東海道五拾三次展」

| | |
|--|--|
| 会期 | 平成 29 年 3 月 18 日(土)～5 月 14 日(日) (平成 28 年度より継続) |
| 主催 | 名古屋ポストン美術館 |
| 共催 | 中日新聞社 |
| 後援 | 愛知県、名古屋市、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、名古屋商工会議所 |
| 協賛 | 中京テレビ放送 |
| 特別協力 | 三菱東京 UFJ 銀行 |
| 協力 | アダチ伝統木版画技術保存団、ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋、エスカ、中部国際空港、ユニモール |
| <p>本展覧会では、旅情あふれる風景版画が世界中で愛されている浮世絵師・歌川広重(1797～1858)の代表作・保永堂版《東海道五拾三次之内》全 55 枚と、行書東海道、隸書東海道、豎絵東海道の類作から東海地方を中心にセレクトした 20 点を加えた総計 75 点により、江戸・日本橋から京都・三条大橋までの東海道を旅するように紹介した。当館では、これまで地元企業の所蔵品や地元の芸術家の紹介にも積極的に取り組んできた。名古屋に所在する三菱東京UFJ銀行貨幣資料館所蔵の歌川広重による保永堂版《東海道五拾三次之内》は摺りが早く状態も良い優品であると定評がある。本展覧会は、同館所蔵の貴重なコレクションをお借りした。当コレクションの保永堂版が一堂に展示されるのは、平成 23 年 8 月 2 日～9 月 11 日開催の「貨幣資料館開館 50 周年記念展」で公開して以来 5 年ぶり、館外で展示するのは平成 3 年に名古屋市博物館で開催した「広重- 東海道五十三次・名所江戸百景の世界」以来、実に 26 年ぶりであった。</p> <p>展示構成は第 1 章「武蔵・相模」、第 2 章「伊豆・駿河・遠江」、第 3 章「三河・尾張」、第 4 章「伊勢・近江・山城」と、地域ごとに分けた全 4 章とした。また解説に、江戸時代に詠まれた川柳句集『誹風柳多留』から各作品の場面に合う句をピックアップし、作品のイメージがより広がることを期待して盛り込んだ。そのほか、「広重と東海道物」、「旅のスタイルいろいろ」や「旅籠で働く人々」、「江戸時代の旅ブーム」などのトピックパネルで、作品の理解を深める工夫を凝らした。</p> <p>本展覧会では、「吉田博展」同様に図録は発行せず、その代替として来館者全員に無料配布物(宿場マップ)を制作した。トピックパネルの内容や、宿場の地図、また展示室ではパネル化していない年表や各地の名物名産一覧などの情報を盛り込み、当マップを併せて見ることでより楽しめるとともに、持ち帰っても記念となる内容とした。また展覧会ハイライトの解説映像(約 20 分)と音声ガイド(18 作品+3 エピソードを紹介、総計 21 件)も併せて制作した。</p> <p>関連イベントとして、会期中の 4 月 8 日に山本祐子氏(名古屋市博物館 調査研究員)によるゲストレクチャー、同月 23 日には長井裕子氏(那珂川町馬頭広重美術館 主任学芸員)による講演会を開催したほか、4 月 29 日(土・祝)～5 月 7 日(日)は「Go! Go! 家族でびじゅつかん」としてクイズシートや入館料割引、また予約不要で広重の作品を実際に摺れる「広重の多色摺りに挑戦!」など、様々なプログラムを実施した。その他、教育普及プログラムに、当館定番の「ナボンとうさぎのヒントブック」、「ぬりえ」(2 種)を会期中提供した。また、出品作品をもとに制作した触図(2 種)を制作し、会期中設置した。</p> <p>広報活動は、国内で「広重展」が多く開催されている中、どのようにして他館との違いを見せるかがポイントとなった。広重ブルーといわれる青を用いたポスターやチラシが多いため、あえてピンクを使用し「HIROSHIGE」というアルファベットを用いたデザインを採用した。「吉田博展」同様にポスターは別バージョンも制作し、館内で掲出した。美術館外の大階段と 3 階ロビーでは、《御油 旅人留女》を使った写真スポットを設置し、SNSでの拡散を狙った。ポストンコーナーでは、広重の保永堂版の背景を借用し美人を手前に配した歌川国貞の「東海道五十三次」(通称:美人東海道)をパネルで紹介した。</p> | |
| 新聞記事 | 朝日:「美博ノート」(3 連載)4/11、4/18、4/25、「地域総合欄」 |
| テレビ・ラジオ | 中京テレビ:15 秒スポット |
| 雑誌他 | 「広報なごや」4 月号(5/5 摺りの体験)、「Yahoo!ライフマガジン」 |

※平成 29 年 4 月 1 日以降の分につき記載

(2) 第40回展 「ボストン美術館 パリジェンヌ展 -時代を映す女性たち」

| | |
|--|---|
| 会期 | 平成29年6月10日(土)～10月15日(日) |
| 主催 | 名古屋ボストン美術館、ボストン美術館、NHK名古屋放送局 |
| 共催 | 中日新聞社 |
| 後援 | アメリカ大使館、愛知県、名古屋市、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、名古屋商工会議所 |
| 協賛 | 大日本印刷 |
| 協力 | 日本航空、日本貨物航空、近畿日本鉄道、東海旅客鉄道、名古屋市交通局、名古屋鉄道、アリアンス・フランセーズ愛知フランス協会、ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋、エスカ、中部国際空港、名鉄百貨店、ユニモール |
| <p>パリジェンヌに憧れるのはなぜか？本展は、ドレスや靴といったファッション、マネやドガが描いた肖像、映画や舞台で活躍した女優やダンサーの写真など、ボストン美術館の所蔵品約120点によってパリという都市を体現してきたパリジェンヌの変遷を芸術作品を通じてたどり、その魅力を探ろうとする試みである。</p> <p>展示は、1章「パリという舞台の準備—邸宅と劇にみる18世紀のエレガンス」、2章「日々の生活—家庭と仕事、女性の役割」、3章「『パリジェンヌ』の確立—憧れのスタイル」、4章「芸術をとりまく環境—制作者、モデル、ミュージック」、5章「モダン・シーン—舞台、街角、スタジオ」のテーマ別の5章で構成され、順を追うことで18世紀から20世紀まで、250年間の歴史を追うことができる。油彩画、版画、素描、写真、ドレス、彫刻などさまざまな技法の作品があるため、版画と油彩、写真とドレスなど異なる技法で表された作品のなかに共通点を見つけることができた。またケース内に展示しなければならなかったドレスは前面だけでなく背面、側面も見られるように展示を工夫した。</p> <p>図録はNHKおよびNHKプロモーションが発行し、編集は両社に加えて当館を含む開催各館の学芸員が行った。米国ボストン美術館のケイティ・ハンソン氏、ジュリア・ウェルチ氏が執筆した章解説および章エッセイに加え、修復部のルイズ・オルシーニ氏と各館の学芸員が執筆した多彩なコラム、作家解説、地図なども掲載した。またNHKおよびNHKプロモーションによって巡回館共通の音声ガイド、展覧会紹介映像も作成された。</p> <p>関連イベントとして展覧会開幕日にケイティ・ハンソン氏による講演会を実施した。また7月にフランス文学者でパリに関するさまざまな著書がある鹿島茂氏による、9月に神戸ファッション美術館学芸員の浜田久二雄氏による講演会を実施した。夏休みに合わせて毎年開催している日米アート交流プログラム「プリント、パリジェンヌ！」を開催した。その他、期間中には出品作品のぬりえ(2種)、ナボンとうさぎのヒント・ブック、触図(2種)のほか、「Go! Go! 家族でびじゅつかん」の期間にはクイズシート、日時限定の視覚障がい者向けプログラムなどさまざまなプログラムを実施した。</p> <p>広報活動では、テーマの魅力をいかに伝えるか検討を重ねた。“パリジェンヌ”をひとつの作品で語ることは難しく、また、“パリジェンヌ”に対する人々のイメージも様々である。そこで、広報ビジュアルでは複数の作品で多様なパリジェンヌの姿を見せながら、「憧れるのは、なぜ。」というキャッチコピーで受け手それぞれが抱く“憧れのパリジェンヌ”への興味を喚起し、展覧会に興味を持たせることを目指した。キャッチコピーを視覚的に表したトリコロールカラーのストライプと大きなクエスションマークはインパクトがあり、展覧会のアイコンとして活用した。パリジェンヌといえばファッションブルな姿が連想されること、会場で数々のドレスを紹介していたことから、展覧会で紹介する時代を代表する3つのスタイルのオリジナル衣装5着を用意した。自由に試着・写真撮影できるコーナーとして会期を通して人気を博し、SNS上でも多くの投稿が確認できた。また、フランス共和国の成立を祝う革命記念日「パリ祭」(7月14日)前後の1週間には、名古屋駅の顔「ナナちゃん」をトリコロールカラーの鮮やかなワンピースでドレスアップした。館内でも「パリ・ウィーク」として、割引やプレゼントの実施で大いに盛り上げた。約4か月の長い会期で集客に苦戦したが、数々のイベントと共同主催のNHK名古屋放送局を中心としたメディア露出で健闘した。</p> | |
| 新聞記事 | <p>中日：お出かけガイド(5/29,6/26,日米アート7/31,8/28)、社告(6/5)、開幕記事(6/10)、連載(8/30,31)、半2段広告(5/23,8/1,9/14)、週末ガイド(6/15)カラードレス1点、地域欄記事(7/12)ナナちゃん紹介、文化欄記事(7/14)：ドレス3点、突き出し7/12・28,8/9・10,9/7・12・16他</p> <p>朝日：「美の履歴書」カラー「街の歌い手」(文化・地域総合欄7/11夕刊)、美博ノート(9/12,19,26)毎日：アート欄(6/24)</p> <p>日経：美術展示ガイド(6/12)、豊田市美術館(千葉氏寄稿記事)(8/19)、The Japan Times(6/17)</p> |
| テレビ | <p>中京テレビ：15秒CM放送枠、「キャイ〜ン&おかずクラブ激うま西遊記」(6/25)</p> <p>テレビ愛知：「こちら名古屋市ボイメン課」広報部佐々木出演(7/14)</p> <p>NHK：「東海ピックアップ」柳澤学芸員出演(8/13)、「さらさらサラダ」柳澤学芸員出演(9/5)、「人生デザインU29」※8/26ゲストレクチャー取材(10/3)</p> |
| ラジオ | ZIP-FM(6/17)、東海ラジオ「アンジュルム和田彩花のビジュアルム」(9/23)、NHK「ゴジらじ」柳澤係長出演(8/29) |
| 雑誌他 | 「広報なごや」(6月号)、「ふらんす」(6月号)、「KELLY」(8月号)、「Story」(10月号) |
| Web | 愛知県公式ガイド「AICHI NOW」、「FASHION PRESS」、「Yahoo!ライフマガジン」 |

(3) 第41回展 「ボストン美術館浮世絵名品展 鈴木春信」

| | |
|------|---|
| 会期 | 平成29年11月3日(金・祝)～平成30年1月21日(日) |
| 主催 | 名古屋ボストン美術館、ボストン美術館、日本経済新聞社、テレビ愛知 |
| 共催 | 中日新聞社 |
| 後援 | アメリカ大使館、愛知県、名古屋市、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、名古屋商工会議所 |
| 特別協賛 | フィデリティ投信 |
| 協賛 | 大伸社 |
| 協力 | 日本航空、近畿日本鉄道、東海旅客鉄道、名古屋市交通局、名古屋鉄道、ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋、エスカ、中部国際空港、ユニモール |

墨一色から始まった浮世絵は、明和期(1764-1771)に「錦絵」と呼ばれる多色摺木版へと変革を遂げた。その「錦絵」誕生の立役者が鈴木春信(享保10年?～明和7年【1725?-1770】)である。繊細で優雅、文学的な抒情あふれる春信作品は、浮世絵ファンを惹きつけてやまない。ボストン美術館の春信コレクションは、同館の浮世絵コレクションの神髄を担うといっても過言ではない。本展覧会は、質・量ともに世界屈指を誇るボストン美術館の浮世絵コレクションから選りすぐりの150件で春信の魅力に迫るものであった。

章構成は、「プロローグ 春信を育んだ時代と初期の作品」、「1章 絵暦交換会の流行と錦絵の誕生」、「2章 絵を読む楽しみ」、「3章 江戸の恋人たち」、「4章 日常を愛おしむ」、「5章 江戸の今を描く」、「エピローグ 春信を慕う」の全7つのストーリーで春信の作品のみにとどまらず春信を育んだ時代の先行絵師も紹介した。

また、展示室の色経師は明るい色調の紙を選び、照明も章ごとに雰囲気を変えるなど、春信作品のもつ幸福感・心安らぐ印象を大切にしたい会場造りを目指した。加えて、館独自の解説パネルの追加制作のほか、アダチ伝統木版画技術保存財団よりお借りした「夕立」の摺順序の展示などで春信の魅力をより伝えられるように努めた。

図録は日本経済新聞社が発行し、編集は同社に加えて当館を含む開催各館の学芸員が行った。ボストン美術館のセーラ・E・トンプソン氏(浮世絵版画室室長)、本展覧会監修者の田辺昌子氏(千葉市美術館副館長)によるエッセイのほか、浅野秀剛氏(あべのハルカス美術館館長)、藤村忠海範氏(同美術館主任学芸員)、田辺昌子氏、松岡まり江(千葉市美術館学芸員)、鏡味千佳(当館担当学芸員)ら各開催館の学芸員による作品解説を掲載した。また日本経済新聞社による音声ガイド(ナビゲーター:武内駿輔【声優】)も運用した。さらに、当館オリジナルで展覧会紹介の映像資料(約20分)をレクチャールームで上映した。

関連イベントとして展覧会開幕日にセーラ・トンプソンとジョン・ライト(アジア絵画修復室 修復士)氏、また11月に小林 忠氏(国際浮世絵学会会長・学習院大学名誉教授)、12月に田辺 昌子氏による講演会を実施したほか、アダチ伝統木版画技術保存財団による「摺りの実演会」、親子向けとして当館館長による「親子で春信句会!」を開催した。期間中には出品作品の「ぬりえ」(2種)、「ナボンとうさぎのヒントブック」、触図(2種)のほか、「Go! Go! 家族でびじゅつかん」の期間にはクイズシート、日時限定の視覚障がい者向けプログラムなど盛りだくさんのプログラムを実施した。

広報活動は、主催メディアである日本経済新聞に期間中約40回を超える広告と記事を掲載し、テレビ愛知では15秒スポットのほかミニ番組や特番での展覧会紹介を行った。また、浮世絵好き、版画好きな層を狙って雑誌『版画芸術』に記事と広告を打つなどコアな層にもPRした。近隣の施設との連携では名古屋市博物館で同時期に開催した「北斎だるせん」との「浮世絵の巨匠スタンプラリー」を実施するとともに名古屋市営地下鉄での車内吊り広告を出稿。館内のイベントとしては、摺りの体験コーナー「春信の多色摺りを体験!」を3回実施したほか、お正月「お楽しみ抽選会」を1月2,3日に実施し、イベントの情宣とともに多くの来館者に楽しんでいただいた。

なお、2017年9月に千葉市美術館を皮切りに始まった本展は、11月の当館を経て、2018年4月にはあべのハルカス美術館、7月には福岡市美術館へ巡回する。

| | |
|------|--|
| 新聞記事 | 日経:社告(9/14)、全5段広告(9/16,27,10/2,4,9,13,17,19,24,25,29,11/11,19,12/2,9,10,21,22,25,12/27,1/6,11,12,18)、特集記事(カラー)(10/31)、開幕記事(11/4)、「日経グループからのお知らせ」(8/29 カラー)、The STYLE(12/24)カラー:展示会紹介 中日:社告(10/25)、開幕記事(11/4)、美術評(愛知教育大学浅野先生)11/25、2連載(11/29,30) 半2段広告(10/19,12/7,1/4)、文化美術欄(12/18) 朝日:記事(12/13) 信濃毎日:展覧会、講演会告知(10/19)、展覧会紹介(12/22) 読売:地域版(1/11) |
| テレビ | テレビ愛知:ミニ番組(11/3)、BS朝日:「Bridge」深夜番組(約15秒)、CM制作(15秒スポット)中京テレビ、NHK日曜美術館・本編(10/1) |
| 雑誌他 | 「和楽」11月号(図録紹介)、「月刊なごやか」11月号、「ザ・マイカー」、「フリモ」、「版画美術」(有料広告&記事6頁)、「あつたホームニュース」、「サライ」12月号(カレンダー)、「arch」12月号 月刊「とうかい食べあるき」12月号、「婦人画報」12月号、「びあ」年末年始美術展紹介、「おとなのOFF 2018」、「和楽」、「こだち」12月号、「那古野」12-1号、「ラポラ」(AIR Do 機内誌)、『版画芸術』(有料広告&記事6頁)12月号 |
| Web | 「Share Art」、「Internet Museum」、「B-ex」、「Yahoo!ライフマガジン」、「ウォーカープラス」、「中日プラス」(3回)、「Yahoo!マガジン」、「J Life-Pal」 |

(4) 第 42 回展 「ボストン美術館の至宝展 -東西の名品、珠玉のコレクション」

| | |
|--|--|
| 会期 | 平成 30 年 2 月 18 日(日)～7 月 1 日(日) (平成 30 年度へ継続) |
| 主催 | 名古屋ボストン美術館、ボストン美術館、朝日新聞社 |
| 共催 | 中日新聞社 |
| 後援 | アメリカ大使館、愛知県、名古屋市、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、名古屋商工会議所 |
| 特別協賛 | 第一生命グループ 第一生命 第一フロンティア生命 ネオファースト生命 |
| 協賛 | 凸版印刷、三菱商事、中京テレビ放送 |
| 協力 | 日本航空、日本貨物航空、近畿日本鉄道、東海旅客鉄道、名古屋市交通局、名古屋鉄道、ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋、エスカ、中部国際空港、ユニモール |
| <p>ボストン美術館は、古今東西の名品が揃う世界屈指の百科事典的美術館である。本展覧会では、50 万点以上にのぼるコレクションの中から珠玉の 80 点を紹介した。当館ではこれまでも同館のコレクションをあらゆる角度から展示・紹介してきたが、古代エジプトから現代美術まで、これだけ幅広い内容を総合的に展示することは初めてである。また本展覧会では、コレクションの形成に寄与したコレクターやスポンサーの活動に光をあて、彼らの物語を軸に名品を紹介した。1976 年に開館したボストン美術館は、国や州の財政的援助を一切受けずにコレクションの拡充を続けている。世界屈指の量と質を誇るコレクションに秘められたコレクターたちの物語をたどることで、1 点 1 点の作品を、これまでとは違った角度からより深く楽しめるよう構成した。</p> <p>展示構成は、コレクターたちの軌跡をたどる 4 つのパートと、分野ごとの 7 つの章に分けられた。パートⅠ「異国を旅したポストニアンたち」には 第 1 章「古代エジプト美術」・第 2 章「中国美術」・第 3 章「日本美術」、パートⅡ「グランド・ツアー -ヨーロッパ美術を集めたポストニアンたち」には 第 4 章「フランス絵画」、パートⅢ「アメリカン・ドリーム -自国の美術を収集するポストニアンたち」には 第 5 章「アメリカ絵画」、パートⅣ「同時代の美術へ -未来に向かう美術館」には 第 6 章「版画・写真」と第 7 章「現代美術」が組み込まれた。また主要なコレクターの来歴をパネルで紹介し、関連する作品の近くに設置した。作品解説も全作品分製作し、展覧会の根幹であり、英語原題である「Great Collectors (偉大なる収集家たち)」と作品との関係に注目してもらえよう、工夫を凝らした。</p> <p>本展覧会では、全作品を掲載した図録を発行した。図録には論文やコラムなどが多数掲載された。巻頭には本展覧会メイン・キュレーター・モーリーン・メルトン氏によるボストン美術館の歴史を紹介した論文が収録されている。また、アジア絵画修復室長のジャッキー・エルガー氏による英一蝶《涅槃図》の修理に関するコラムや、各コレクターたちを詳しく紹介したコラム、巡回した 3 館の担当学芸員によるコラム、エッセイなどを掲載した。またコレクターの物語に焦点をあてた解説映像(約 20 分)と、主要作品を紹介する音声ガイド(19 作品+4 エピソードを紹介、総計 23 件)も併せて制作した。</p> <p>本年度の関連講演会は、モーリーン・メルトン氏(ボストン美術館 図書館・アーカイブ室長、美術館歴史家)、ジャッキー・エルガー氏(ボストン美術館 アジア絵画修復室長)をそれぞれ講師に迎え実施した。参加型プログラムとしては、山田珠美氏(ダンサー、振付家)による「動く涅槃図を作ろうー身体をつかって美術鑑賞」を実施した。その他教育普及プログラムとして、期間中には出品作品の「ぬりえ」(2 種)、「ナボンとうさぎのヒントブック」、触図(3 種)を会期中提供している。また日時限定の視覚障がい者向けプログラムも実施した。</p> <p>本展は、東京都美術館、神戸市博物館、当館の巡回展であったが、前 2 館のデザインは踏襲せずに新たに広報ビジュアルを制作した。理由は、名品の数々を収集家の物語と併せて見ることでボストン美術館そのものについて知ることができるという本展の特徴を伝えたかったからだ。そこで、アメリカ・ボストンの雰囲気演出する英語原題の BOSTON を強調したタイトルロゴを中心に、各分野の作品とキャッチコピー“世界に誇るボストン・オールスター、名古屋に集結。”で名品が勢揃いすることを表した。また、見どころを「1. ボストン美術館が誇る古今東西の傑作 80 点が集結。ーツタンカーメンから村上隆までー」「2. 世界屈指のコレクションに隠れたコレクターたちの物語をたどる。」「3. 日本初！ファン・ゴッホの傑作、ルーラン夫妻の肖像画を 2 点同時に展示。」「4. 英一蝶の巨大涅槃図、約 170 年ぶりの修理を経て初の里帰り！」の 4 つに絞りつつ、“鑑賞ポイント”として「まるでボストン美術館に来たみたい！古代から現代まで、50 万点のコレクションの真髄を味わう。」「多彩な分野の作品と出会い、芸術の好みを知る！」「作品の向こうに収集家の想いを感じる！」を提案することで、美術ファンにも美術初心者にも楽しめる内容であることを示した。関連イベントは展覧会のテーマに合わせて企画した。“集める楽しさ”を体感してもらおう「至宝展のスタンプを集めて最終展の招待券をゲット！」。スター作品による自己紹介を会期を通して発信する展覧会 twitter アカウント。そして、7分野から好みの美術分野を紹介する「あなたは何派？美術ジャンル診断ツール」。いずれも本展だからこそ実施できたものであり、後者 2 つの WEB 企画は初めての試みでもあった。</p> | |
| 新聞記事 | 朝日：展覧会紹介(1/7)、特集記事・朝刊 10 段(2/8)、社告(2/17)、開幕記事(2/18)、ラテ欄(2/21 他)、半 5 段(2/24)、朝刊 10 段(3/7) 中日：社告(2/13)、開催記事(2/18)、2 連載(3/23,24)、お出かけガイド：涅槃図ワークショップ告知(2/26)、半 2 段広告(2/1) |
| テレビ | 中京テレビ：15 秒 CM 放送枠、テレビ愛知「こちら名古屋市ボイメン課」三輪学芸員・山口学芸員出演(3/16) |
| ラジオ | CBC ラジオ「名古屋市だより」広報部佐々木出演(3/27) |
| 雑誌他 | 「広報なごや」3月号(表4)、「月刊 KELLY」3月号、「アートコレクターズ」3月号 |

※平成 30 年 3 月 31 日までの分につき記載

II. 教育普及・情報提供事業

1. 印刷物

(1) 展覧会図録

- ・「ボストン美術館 パリジェンヌ展 -時代を映す女性たち」
La Parisienne: Portraying Women in the Capital of Culture,
1715-1965 from the Museum of Fine Arts, Boston
A4 変形判 154 頁 名古屋ボストン美術館、世田谷美術館、広島県立美術館
NHK, NHK プロモーション編集、NHK, NHK プロモーション発行
- ・「ボストン美術館所蔵浮世絵名品展 鈴木春信」
HARUNOBU FROM THE MUSEUM OF FINE ARTS, BOSTON
A4 変形判 上製 264 頁 日本経済新聞社発行、名古屋ボストン美術館ほか執筆・編集
- ・「ボストン美術館の至宝展 -東西の名品、珠玉のコレクション」
Great Collectors: Masterpieces from the Museum of Fine Arts, Boston
B5 判 212 頁 ボストン美術館、東京都美術館、神戸市立博物館、
名古屋ボストン美術館、朝日新聞社編集・構成、朝日新聞社発行

(2) 展覧会配布資料

- ・「三菱東京UFJ銀行貨幣資料館所蔵 歌川広重 東海道五拾三次展」
宿場マップ 両面4色、6ページ、巻三つ折り

(3) 名古屋ボストン美術館ニュース

- ① No. 61 平成 29 年 6 月 10 日発行
- ② No. 62 平成 29 年 11 月 3 日発行
- ③ No. 63 平成 30 年 2 月 18 日発行

(4) 活動報告書

「2016 年度 活動報告書 (Vol.7)」 A4 版、30 頁 平成 29 年 6 月発行

(5) セルフガイド・ワークシート・セルフアクティビティ

| 展覧会 | プログラム名 | 種類 | 提供形式・参加人数 |
|---------------------------|-----------------------|--------|--|
| 歌川広重 東海道五拾三次展 | 「ナボンとうさぎのヒント・ブック」 | セルフガイド | 中学生以下の入館者に配布 展示室入口に設置 |
| | 「ぬりえ」(2 種) | ワークシート | 図書コーナーで実施 5 階に掲出 |
| | 「クイズシート」 (各期間 1 種) | ワークシート | Go!Go!カップルで美術館、 Go!Go!家族でびじゅつかん 期間中に配布 |
| ボストン美術館 パリジェンヌ展 | 「ナボンとうさぎのヒント・ブック」 | セルフガイド | 中学生以下の入館者に配布 展示室入口に設置 |
| | 「ぬりえ」(2 種) | ワークシート | 図書コーナーで実施 5 階に掲出 |
| | 「クイズシート」 (各期間 1 種) | ワークシート | Go!Go!家族でびじゅつかん 期間中に配布 |
| ボストン美術館 浮世絵名品展 鈴木春信 | 「ナボンとうさぎのヒント・ブック」 | セルフガイド | 中学生以下の入館者に配布 展示室入口に設置 |
| | 「ぬりえ」(2 種) | ワークシート | 図書コーナーで実施 5 階に掲出 |
| | 「クイズシート」 (各期間 1 種) | ワークシート | Go!Go!カップルで美術館、 期間中に配布 |
| ボストン美術館の 至宝展 | 「ナボンとうさぎのヒント・ブック」 | セルフガイド | 中学生以下の入館者に配布 展示室入口に設置 |
| | 「ぬりえ」(2 種) | ワークシート | 図書コーナーで実施 5 階に掲出 |

2. 制作物

(1) 音声ガイド

- 「三菱東京UFJ銀行貨幣資料館所蔵 歌川広重 東海道五拾三次展」
(導入及び作品解説、計 21 件収録)
- 「ボストン美術館 パリジェンヌ展 ー時代を映す女性たち」
(導入・作品解説及び特別チャンネル、計 23 件収録)
- 「ボストン美術館浮世絵名品展 鈴木春信」
(導入及び作品解説、計 21 件収録)
- 「ボストン美術館の至宝展 ー東西の名品、珠玉のコレクション」
(導入及び作品解説、計 23 件収録)

(2) 映像ソフト (ブルーレイおよび DVD、展覧会解説映像)

- 「三菱東京UFJ銀行貨幣資料館所蔵 歌川広重 東海道五拾三次展」
- 「ボストン美術館 パリジェンヌ展 ー時代を映す女性たち」
- 「ボストン美術館浮世絵名品展 鈴木春信」
- 「ボストン美術館の至宝展 ー東西の名品、珠玉のコレクション」

(3) 立体コピー (触図)

- 「三菱東京UFJ銀行貨幣資料館所蔵 歌川広重 東海道五拾三次展」 2種
- 「ボストン美術館 パリジェンヌ展 ー時代を映す女性たち」 2種
- 「ボストン美術館浮世絵名品展 鈴木春信」 2種
- 「ボストン美術館の至宝展 ー東西の名品、珠玉のコレクション」 3種

3. 講演会・関連イベント

(1) 講演会

- ・「三菱東京UFJ銀行貨幣資料館所蔵 歌川広重 東海道五拾三次展」 関連講演会

| 開催日 | タイトル | 講師 | 参加人数 |
|-------|--------------------------|--------------------------------|------|
| 4月8日 | ゲストレクチャー 「広重 VS 猿猴庵」* | 山本 祐子 氏 (名古屋市博物館 調査研究員) | 47名 |
| 4月23日 | 「広重と行く東海道の旅」 | 長井 裕子 氏 (那珂川町馬頭広重美術館 主任学芸員) | 162名 |

- ・「ボストン美術館 パリジェンヌ展 ー時代を映す女性たち」 関連講演会

| 開催日 | タイトル | 講師 | 参加人数 |
|-------|--|---|------------|
| 6月10日 | 「パリジェンヌ -難解で魅惑的な存在」 | ケイティ・ハンソン 氏 (ボストン美術館 ヨーロッパ美術部キュレーター) | 101名 |
| 7月8日 | 「女性の解放と近代の誕生」 | 鹿島 茂 氏 (明治大学 国際日本学部教授) | 142名 |
| 8月26日 | ゲストレクチャー 「ヴィンテージウェアにみるパリジェンヌのエスプリ」* | 長谷川 彰良 氏 (モデリスト、デザイナー、ブロガー) | 21名 20名 |
| 9月3日 | 「パリジェンヌに学ぶ西洋と日本の女性ファッション」 | 浜田 久仁雄 氏 (神戸ファッション美術館 学芸員) | 94名 |
| 9月16日 | ゲストレクチャー 「パリジェンヌ 現代のイメージ」* | 小林 久見子 氏 (アリアンス・フランセーズ愛知フランス協会) | 38名 |

・「ボストン美術館浮世絵名品展 鈴木春信」 関連講演会

| 開催日 | タイトル | 講師 | 参加人数 |
|--------|----------------------------------|---|------|
| 11月3日 | 「錦絵の夜明け ～手彩色から多色摺木版へ」 | ジョン・ライト 氏 (ボストン美術館アジア絵画修復室 修復士) | 96名 |
| | 「春信とその時代 ～ボストン美術館の浮世絵 コレクション」 | セーラ・トンプソン 氏 (ボストン美術館 浮世絵版画室室長) | 94名 |
| 11月12日 | 「ボストン美術館の春信コレクション」 | 小林 忠 氏 (岡田美術館 館長・国際浮世絵学会 会長・学習院大学 名誉教授) | 114名 |
| 12月9日 | 「浮世絵の新時代 ～春信と錦絵の誕生」 | 田辺 昌子 氏 (千葉市美術館 副館長) | 107名 |

・「ボストン美術館の至宝展 ー東西の名品、珠玉のコレクション」 関連講演会

(平成29年度開催分のみを記載)

| 開催日 | タイトル | 講師 | 参加人数 |
|-------|---------------------|--|------|
| 2月18日 | 「英一蝶《涅槃図》を後世に残すために」 | ジャッキー・エルガー 氏 (ボストン美術館 アジア絵画修復室 室長) | 87名 |
| | 「ボストン美術館の偉大なる収集家たち」 | モーリーン・メルトン 氏 (ボストン美術館 図書館・アーカイブ 館長、美術館歴史家) | 101名 |

会場は名古屋都市センター11階ホール (*は当館レクチャールーム)

(2) ワークショップ・その他

| 展覧会 | プログラム名 | 講師・ ナビゲーター | 開催日 | 場所・ 募集人数(当日参加人数) |
|---------------------------|---|--|--------------------|--|
| 歌川広重 東海道五拾三次展 | Go!Go! 家族でびじゅつかん | 当館学芸員 | 4月29日～5月7日 | |
| ボストン美術館 パリジェンヌ展 | Go!Go! 家族でびじゅつかん | | 7月22日～8月31日 | |
| | 日米アート交流プログラム 「プリントパリジェンヌ! 布にプリントしてみよう」 | 東条香澄 氏 (版画家) | 7月23日 | 展示室/レクチャールーム 20名 |
| | 視覚障がい者向けイベント | 当館学芸員 | ① 9月13日 ② 9月26日 | 図書コーナー/展示室 ① 3名 ② 3名 |
| | NHK文化センター名古屋教室 関連講座「パリジェンヌ展と 楽しむフランスの美と食」 | 亀山美香氏 (チーズとはちみつ 専門店「メルクル」)、 当館学芸員 | 8月5日 | スターゲイト (ANAクラウンプラザホテル グランコート名古屋) |
| ボストン美術館 浮世絵名品展 鈴木春信 | Go!Go! カップルで美術館 | | 12月9日～12月17日 | |
| | 視覚障がい者向けイベント | 当館学芸員 | 1月10日 | 図書コーナー/展示室 4名 |
| | 「親子で春信句会」 (親子イベント) | 馬場駿吉 (当館館長) | 12月16日 | レクチャールーム 23名(小学生と保護者) |
| ボストン美術館 の至宝展 | 視覚障がい者向けイベント | 当館学芸員 | 3月14日 | 図書コーナー/展示室 3名 |
| | 動く涅槃図を作ろう 身体をつかって美術鑑賞 | 山田珠実 氏 (振付家・ダンサー) | 3月24日 | 展示室/レクチャールーム 27名 |

4. 学芸員によるミニ・レクチャー

- (1)「ボストン美術館 パリジェンヌ展 ー時代を映す女性たち」 ミニ・レクチャー
平成 29 年 6 月 24 日、 7 月 15 日 各 40 名
- (2)「ボストン美術館浮世絵名品展 鈴木春信」 ミニ・レクチャー
平成 29 年 12 月 2 日、 1 月 8 日 各 40 名
- (3)「ボストン美術館の至宝展 ー東西の名品、珠玉のコレクション」ミニ・レクチャー
平成 30 年 3 月 4 日 40 名

5. 大学・その他との連携事業

(1) 南山大学エクステンション・カレッジとの連携

南山大学が生涯学習教育を目的として開校しているエクステンション・カレッジと連携し、当館開催の展覧会や活動に関連した講座「まるごと楽しむ名古屋ボストン美術館」を実施した。(全 5 回)

○平成 29 年度春期 南山大学エクステンション・カレッジ公開特別講座企画

受講登録者数： 40 名 場所：名古屋ボストン美術館 レクチャールーム及び展示室

| 開講日 | テーマ | 担当 |
|-----------------------|--|--------|
| 6 月 21 日 7 月 5 日 | 「ボストン美術館 パリジェンヌ展 時代を映す女性たち」を 楽しもう！(ギャラリー見学含む) | 柳澤宏美 |
| 11 月 22 日 | 地域社会における美術館の役割 | 馬場駿吉館長 |
| 12 月 6 日 12 月 20 日 | 「ボストン美術館浮世絵名品展 鈴木春信」を楽しもう！ (ギャラリー見学含む) | 鏡味千佳 |

6. ボストン美術館との共同教育プログラム(日米アート交流プログラム)

「プリント・パリジェンヌ！～布にプリントしてみよう」

日時：7 月 23 日 13：00～16：00

講師：東条香澄 氏(版画家)

平成 16 年度より継続している、当館と米国ボストン美術館に来館した子供たち同士の交流を目的とした共同教育プログラムの 14 回目。

本年度は「パリジェンヌ展」の展示作品から着想を得たオリジナルのデザインを作って版画の「版」を制作し、それらを組み合わせ、様々な色で摺ることで作品を制作した。開催後は日米合わせて 40 人の力作を一緒に展示した。またボストン美術館カフェテリア入口の展示スペースでも、日米の子どもたちの作品を併せて展示を行った。

その後完成した作品を収めたフォトブックを作成し、子どもたちに作品とともに返送した。(参加者数…名古屋：20 名、ボストン：20 名)

7. ボストン美術館芸術大学(SMFA)との交流

平成 23 年 2 月にボストン美術館芸術大学(平成 28 年 6 月タフツ大学に統合)と愛知県立芸術大学が芸術交流に関する協定を締結した。当館は、この芸術国際交流を協定締結時から支援している。

SMFA がタフツ大学と合併したことを受け、平成 29 年 11 月の学芸部ボストン出張の折にタフツ大学の国際交流担当者およびギャラリー担当者と顔合わせ。愛知県立芸術大学との提携関係が引き継がれるように依頼した。

8. レクチャー、学校教員研修会への協力

例年通り、来館団体向けを中心に、展覧会会期中を通じてレクチャーを実施した。

9. 資料交換

平成 21 年度より、近隣及び国内の美術館・博物館と資料交換を実施。原則として年一回、前年度に開催した展覧会図録等を寄贈している。また、平成 23 年度より活動報告書を作成。国内の主な美術館、博物館、大学へ送付している。

本年度は展覧会図録・活動報告書をあわせて 76 の機関へ送付した。また、国内の美術館、博物館、大学等関係機関から図録・研究紀要等あわせて 320 冊を受贈した。

10. 広報・販売促進 イベント

(1) 「三菱東京UFJ銀行貨幣資料館所蔵 歌川広重 東海道五拾三次展」 関連イベント

| 開催日 | イベント | 内容 | 場所 参加人数 |
|---------------------------------|---------------------------|---|--------------------------|
| 平成 29 年 3 月 18 日～ (会期中常設) | 写真スポット 「江戸の旅籠にタイムスリップ」 | <ul style="list-style-type: none"> ・《御油 旅人留女》のパネルを設置。 ・会期を通して参加できる企画として、多くの来館者に記念撮影を楽しんでいただいた。写真撮影の機会提供は、SNS による口コミを狙いつつ、体験することで鑑賞をより印象づける企画となった。 | 3 階ロビー |
| 4 月 15 日 | 摺りの実演会 | <ul style="list-style-type: none"> ・アダチ伝統木版画技術保存財団の摺師を招き、《庄野 白雨》の摺りを実演(解説付)。 | 5 階レクチャールーム 21 名、25 名 |

(2) 「ボストン美術館 パリジェンヌ展 —時代を映す女性たち」 関連イベント

| 開催日 | イベント | 内容 | 場所 参加人数 |
|--|--|---|----------------------------------|
| 6 月 10 日～ 10 月 15 日 (会期中常設) | パリジェンヌなりきりコーナー 写真スポット | <ul style="list-style-type: none"> ・ファッションを専攻する専門学校の学生に協力を得て、展覧会で扱う時代を代表して、「クリノリン・スタイル」「バウンスル・スタイル」「アール・デコ・スタイル」の 3 つのスタイルのオリジナル衣装を計 5 着(内 1 着は子ども用)用意。 ・会期を通して参加できる企画として、多くの来館者に記念撮影を楽しんでいただいた。 | 3 階ロビー |
| ・6 月 17 日 ・6 月 24 日 | 学校法人賛助会 写真撮影付プレミアム鑑賞会 「Bonsoir(ボンソワ)! Parisienne (パリジェンヌ)!」 | <ul style="list-style-type: none"> ・閉館後の特別開館。 (対象)学校法人賛助会 会員の学生 ※作品一部写真撮影可。 | 3 階ロビー/ 4・5 階展示室 88 名、64 名 |
| 6 月 20 日～ 7 月 23 日 | ヤマザキマザック美術館「もっと知りたい名画の世界 よそおいの 200 年」展とスタンプラリー | <ul style="list-style-type: none"> ・同時期にファッション関連の「よそおいの 200 年」展を開催していたヤマザキマザック美術館とスタンプラリーを実施。市営地下鉄の車内吊り広告で展覧会とあわせて告知した。 | 両館 |
| 6 月 21 日～ 25 日 | 愛知県下公立小・中学校 教員無料鑑賞期間 | <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の教員に本展覧会への理解を深めていただき、当館をより一層利用いただくため、教員無料鑑賞期間を実施した。 | 展示室内 139 名 |
| 7 月 12 日～ 7 月 19 日 (ナナちゃん は 18 日まで) | パリ・ウィーク&“パリジェンヌなナナちゃん”ドレスアップ | <ul style="list-style-type: none"> ・フランス共和国の成立を祝う革命記念日「パリ祭」(7 月 14 日)前後の 1 週間をパリ・ウィークとして、期間中の当日入館料金の 200 円割引とオリジナルミニタオルのプレゼントを実施。図録ご購入の方にはポストカードもプレゼントした。 ・名古屋駅の顔「ナナちゃん」をトリコロールの鮮やかなワンピースでドレスアップ。 | 館内 名鉄百貨店前 |

| | | | |
|---------------------------|---|--|-------------------------------|
| ・8月6日 ・8月12日 ・8月19日 | プチハットを作ろう！ | ・神戸ファッション美術館の協力を得て実施。 ・ペットボトルのふたを使って、布、リボン、アクセサリーの組合せを楽しみながら帽子を作るワークショップ。 | 5階図書コーナー 36名 30名 30名 |
| 8月25日 | 名フィル「まちかどコンサート」 | ・金山南ビル1階インターコモンで開催。 ・女性演奏家によるフランスにちなんだ楽曲を四重奏で演奏。 ※1回目:15:00～、2回目:18:00～(各30分) | 約80名 |
| 8月28日 | 宗次ホール×名古屋ボストン美術館提携企画コンサート 「クラシック音楽とパリジェンヌたち」 | ・出品作品をスライドに映しながら、フランスにちなんだ楽曲を演奏。 | 宗次ホール 約200名 |
| 8月29日 | 入館者3万人達成イベント (開幕日より69日目) | ・3万人目の来館者には館長より展覧会図録やオリジナルグッズなどの記念品を進呈し、展覧会の感想などのコメントをいただいた。中京テレビに取材・報道していただいた他、当館 Facebook ページでも紹介した。 | 4階展示室前 |

(3) 「ボストン美術館浮世絵名品展 鈴木春信」 関連イベント

| 開催日 | イベント | 内容 | 場所 参加人数 |
|----------------------------|----------------------------|--|------------------------------|
| 11月3日～ 1月21日 (会期中常設) | 写真スポットコーナー 「屋島の合戦になりきり」 | ・今回のなりきりコーナーは「屋島の合戦」の見立絵。 ・会期を通し参加できる企画として、多くの来館者に記念撮影を楽しんでいただいた。 | 3階ロビー |
| 11月22日 ～26日 | 愛知県下公立小・中学校 教員無料鑑賞期間 | ・小中学校の教員に本展覧会への理解を深めていただき、当館をより一層利用いただくため、教員無料鑑賞期間を実施した。 | 124名 |
| 11月23日 12月23日 1月14日 | 「春信の多色摺りを体験」(全3回) | ・アダチ伝統木版画技術保存財団の協力を得て実施。《猫と鼠を抱く兄弟と娘》の部分を用意。 ・「絵師」「彫師」「摺師」の共同作業により完成する多色摺木版の魅力を体験できる貴重な機会となった。 ※13:00～15:00の間、随時自由参加。 | 5階図書コーナー |
| 12月2日 | キモノでジャック | ・着物割引適用でご来館のお客様限定の閉館後特別会館イベント。(今回展示室内の写真撮影はなし) | 120名 |
| 12月10日 | 摺りの実演会 | ・アダチ伝統木版画技術保存財団の摺師を招き、鈴木春信《雪中相合傘》の摺りを実演(解説付)。 | 5階図書コーナー 午前:31名 午後:27名 |

| | | | |
|--------------------|----------------------|---|--------------|
| 30年 1月2日～ 3日 | お正月イベント 「お楽しみ抽選会」 | ・当館最後のお正月イベント。 お正月2,3日の2日間にご来館いただいた お客様に、「オリジナルグッズ」などをプレゼント する「お楽しみ抽選会」を実施し、お正月期間 の集客につなげた。 | 665名 680名 |
|--------------------|----------------------|---|--------------|

(4) 「ボストン美術館の至宝展 ー東西の名品、珠玉のコレクション」 関連イベント

| 開催日 | イベント | 内容 | 場所 参加人数 |
|----------------------------|------------------------------|---|-------------|
| 平成30年 2月18日～ (会期中常設) | 3階ロビー装飾 | ・ファン・ゴッホの「ルーラン夫妻」のパネルと、 中心にボストン美術館のアイコンであるインデ イアン像を設置。 ・多くの来館者に記念撮影を楽しんでいただ いた。 | 3階ロビー |
| 平成30年 2月18日～ (会期中常設) | 至宝展のスタンプを集めて最終展 の招待券をゲット！ | ・展覧会に2回以上ご来館のお客様から抽選 で100組200名に次回展(ハピネス～明日の 幸せを求めて)の招待券をプレゼントする企 画。 ・会期中、至宝展で紹介する7分野にちなん だオリジナル・スタンプを7期間に分けて1種 類ずつ用意し、種類の違うスタンプを2個集 めて応募していただいた。 | 5階展示 室出口 |
| 平成30年 2月18日～ | なりきり tweet (WEB 企画) | ・名品が自ら自己紹介する形で、豆知識を交 えながら会期を通して作品紹介を投稿した。 ・親しみやすい投稿内容が好まれる SNS に合 わせた投稿内容により情報の拡散を図った。 | twitter |
| 2月21日～ 25日 | 愛知県下公立小・中学校 教員無料鑑賞期間 | ・小中学校の教員に本展覧会への理解を深 めていただき、当館をより一層利用いただく ため、教員無料鑑賞期間を実施した。 | 211名 |

11. その他情報提供事業

館内掲示 (ボストンコーナー)

ボストン美術館の広範なコレクションを知っていただく機会と共に、展覧会をより楽しめる資料を提供している。

- ・「三菱東京UFJ銀行貨幣資料館所蔵 歌川広重 東海道五拾三次展」時…ボストン美術館が所蔵する歌川国貞の「東海道五十三次」(通称：美人東海道)を紹介
- ・「ボストン美術館 パリジェンヌ展 ー時代を映す女性たち」時…過去に展示したパリジェンヌを紹介
- ・「ボストン美術館浮世絵名品展 鈴木春信」時…ボストン美術館での作品調査を紹介
- ・「ボストン美術館の至宝展 ー東西の名品、珠玉のコレクション」…歴代の日米アート交流プログラムを紹介

WEB

ホームページでは、最後の2展覧会（「ボストン美術館の至宝展」と「ハピネス展」）を GRAND FINAL EXHIBITIONS として案内する特設ページを閉館日までのカウントダウン表示とともに10月19日に公開。2月18日からは思い出メッセージ募集も開始し、閉館に向けての盛り上げを図っている。

SNSでは、平成24年に開設したFacebookページに加え、「ボストン美術館の至宝展」の情報発信にtwitterアカウントを開設した。「旬」な情報の発信とともにSNSによって異なるユーザーの好みに合わせた内容を投稿している。美術館への親近感を高め、ファンをつくる媒体として活用している。

Ⅲ. メンバー及び法人賛助会の状況

1. 個人メンバーシップ

名古屋ボストン美術館のファン層拡大、市民の美術館を目指し、平成10年10月に発足した「名古屋ボストン美術館メンバーシップ」制度は、年間を通じてお客様の幅広いご支持を得た。平成29年度は、「三菱東京UFJ銀行貨幣資料館所蔵 歌川広重 東海道五拾三次展」をもって新規会員の募集を終了したため平成30年3月末での会員数は前年度末比238名減の2,968名となった。

2. 法人賛助会員

「名古屋ボストン美術館法人賛助会員」制度は平成12年1月に発足。平成30年3月末時点での会員数は、235社/661口（1口5万円）と、前期末9社減/29口の減少となっており、引き続き数多くの会員様よりご理解とご協力をいただいている。

3. 学校法人賛助会

学校法人賛助会制度は、平成19年度の開始以来、現在まで愛知県下の主要大学を中心に利用されており、平成30年3月末時点では29グループ、計57校の大学・短大・専門学校・高校が当制度に加盟し多くの学校法人から御支持をいただいた。本年度も引き続き賛助会制度の普及と展覧会情報の拡散を目的とした写真撮影付プレミアムイベントを実施した。平成29年度の賛助会制度利用者数は11,331名となった。

4. 高校生の一部無料化

業界全体で、高大生の来館者数減少が叫ばれる中、当館は「三菱東京UFJ銀行貨幣資料館所蔵 歌川広重 東海道五拾三次展」（平成29年3月22日）から、平日の午後5時以降に来館する高校生の入場料を無料にする施策を開始。学校終了後、帰宅途中の地元高校生の入館促進を図った。結果は、「歌川広重 東海道五拾三次展」213名（内前年17名）、「パリジェンヌ展」320名、「鈴木春信展」52名、「ボストン美術館の至宝展」63名（平成30年3月末現在）となった。

IV. 企画展検討委員会

当館で開催される企画展は、開館当初は米国ボストン美術館側が主体的に内容等を決定する仕組であったが、平成 18 年 10 月に、平成 21 年 4 月以降に開催される企画展のテーマ選定や展示品の数、主要作品等について、地元関係者等と米国ボストン美術館側の代表者が事前の協議を行う場として、企画展検討委員会が設立された。具体的には、企画展検討委員会は、企画展の主要作品について米国ボストン美術館に対して推薦を行うことができ、米国ボストン美術館は、同委員会の推薦を十分に考慮しつつ、最終決定を下す権利を有することになっている。

同委員会は当財団の評議員会長および事務局長が出席し、年 1～2 回の頻度で開催されてきた。

平成 29 年度は、12 月 8 日に第 19 回委員会が開催され、従来最近の展覧会の実績報告および今後の展覧会予定に加え 10 月 8 日に閉館することを踏まえ、閉館に向けた計画や閉館後の文化事業などの継承などを中心に議論が行われた。なお、当委員会は上記をもって最後の開催となった。

平成 30 年 3 月末時点での企画検討委員会のメンバーは、以下の通り。

| | |
|---------|-----------------------|
| アナ・ベルソー | (ボストン美術館巡回マネージャー) |
| 長谷川仰子 | (ボストン美術館関係者) |
| 村田 眞宏 | (豊田市美術館館長) |
| 南 雄介 | (愛知県美術館館長) |
| 神谷 浩 | (名古屋市博物館副館長) |
| 土崎 正彦 | (美術コーディネーター) |
| 長谷川幸実 | (葵美術グループ副代表) |
| 清水 裕之 | (名古屋大学名誉教授) |
| 寺尾 晶子 | (中日新聞社事業局文化事業部部長) |
| 富田 英之 | (東朋テクノロジー株式会社代表取締役社長) |
| 馬場 駿吉 | (名古屋ボストン美術館館長) |

V. ミュージアムショップ事業

美術館 3 階においてミュージアムショップを運営。スカーフ、ネクタイ、アクセサリ、書籍など、米国ボストン美術館より輸入したオリジナル商品のほか、名古屋ボストン美術館独自に作製したポストカードや文具、菓子等のオリジナル商品、その他企画展の内容に合わせた一般商品を取り揃え販売している。

平成 29 年 4 月 1 日から 5 月 14 日の期間中「三菱東京 UFJ 銀行貨幣資料館所蔵 歌川広重 東海道五拾三次展」では 5,672 千円、6 月 10 日から 10 月 15 日まで開催の「ボストン美術館 パリジェヌ展 - 時代を映す女性たち」では 12,044 千円、11 月 3 日から平成 30 年 1 月 21 日開催の「ボストン美術館 浮世絵名品展 鈴木春信」では 12,649 千円、2 月 18 日から 3 月 31 日までの期間中「ボストン美術館の至宝展 - 東西の名品、珠玉のコレクション」では 8,437 千円の売上を計上した。

具体的な商品内容については「歌川広重 東海道五拾三次展」では、書籍、ポストカード、チョコレートの売上が好調であった。

「パリジェヌ展」では、若い顧客層を中心に、フランスの輸入食品や雑貨類、靴のオブジェ、ポストカード、グリーティングカードの売上が好調であった。

「鈴木春信展」では、年齢層の高い男性顧客層を中心に図録の売上が好調。また、正月のお楽しみ袋（100 セット）、カレンダーも短期間で完売。初めて取り扱った塗り絵も女性顧客を中心に好評であった。

「ボストン美術館の至宝展」も全般的に売上好調であり、お土産需要等で、お一人で多数の商品を購入されるお客様が多く見受けられた。

他にはない、見られない、ここでしか買えないオリジナル商品は希少性も手伝って、お客様の関心も高くご自身はもちろん、ギフトとしてのニーズも高い。今後もお客様のニーズに合わせたオリジナル商品を提案し、購買率、客単価を上げると同時に、企画展の内容に合わせた魅力的な商品を多数取り揃えて展開することで、売上増加に努めていく。

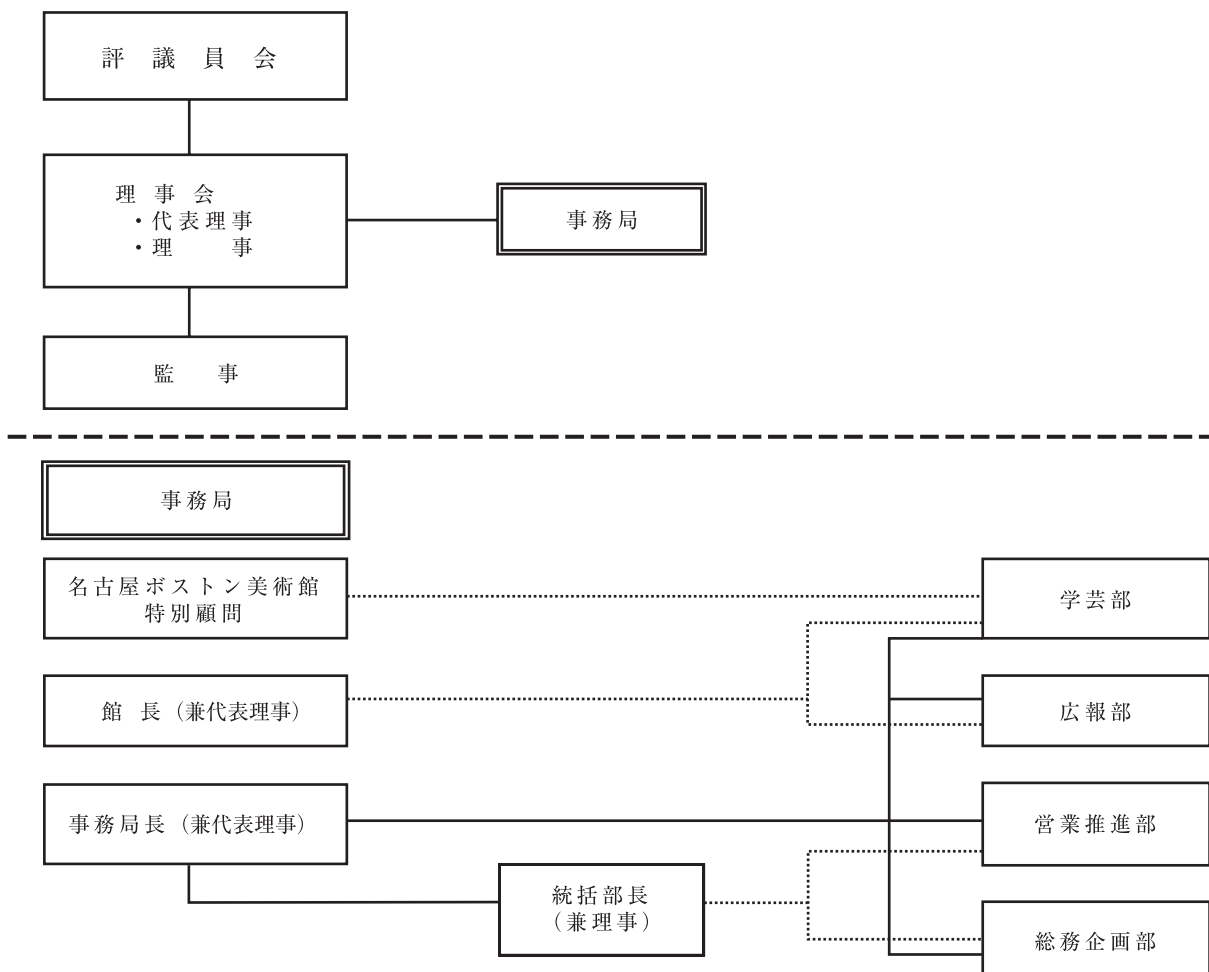
VI. 展覧会入場者数

| 展 覧 会 名 | 会 期 | 入 場 者 数 |
|--|--|-----------|
| 「三菱東京UFJ銀行貨幣資料館所蔵 歌川広重 東海道五拾三次展」 | 平成 29 年 4 月 1 日(土)～ 5 月 14 日(日) *会期は平成 29 年 3 月 18 日より | 21,929 名 |
| 第 40 回展 「ボストン美術館 パリジェンヌ展 ー時代を映す女性たち」 | 平成 29 年 6 月 10 日(土)～ 10 月 15 日(日) | 50,751 名 |
| 第 41 回展 「ボストン美術館浮世絵名品展 鈴木春信」 | 平成 29 年 11 月 3 日(金・祝) ～平成 30 年 1 月 21 日(日) | 32,437 名 |
| 第 42 回展 「ボストン美術館の至宝展 ー東西の名品、珠玉のコレクション」 | 平成 30 年 2 月 18 日(日)～ 3 月 31 日(土) *会期は平成 30 年 7 月 1 日まで | 20,081 名 |
| 展 覧 会 入 場 者 数 合 計 | | 125,198 名 |

VII. 組織等の状況

1. 組織図

(平成 30 年 3 月 31 日現在)



2. 顧問・評議員・役員

(1) 顧問（9名）

| | |
|--------|--------------|
| 鈴木 礼治 | 元愛知県知事 |
| 神田 真秋 | 前愛知県知事 |
| 大村 秀章 | 愛知県知事 |
| 松原 武久 | 前名古屋市長 |
| 河村 たかし | 名古屋市長 |
| 岡田 邦彦 | 元名古屋商工会議所 会頭 |
| 高橋 治朗 | 元名古屋商工会議所 会頭 |
| 岡谷 篤一 | 前名古屋商工会議所 会頭 |
| 山本 亜土 | 名古屋商工会議所 会頭 |

(2) 評議員（10名）

=評議員会長=

古角 保 株式会社三菱東京UFJ銀行 顧問

=評議員=

鳥居 保博 愛知県 県民生活部長
鷺見 卓 株式会社中日新聞社 取締役事業担当
片山 明彦 中部電力株式会社 執行役員総務部長
上田 達郎 トヨタ自動車株式会社 専務役員
渡邊 正則 名古屋市 観光文化交流局長
小川 秀樹 名古屋商工会議所 専務理事
柴田 浩 名古屋鉄道株式会社 代表取締役副社長
中野谷 公一 日本放送協会名古屋放送局 局長
ニーナ・パール ポストン美術館 理事

(3) 役員（25名）

=代表理事=

藤田 健一 公益財団法人名古屋国際芸術文化交流財団 事務局長
馬場 駿吉 名古屋ポストン美術館 館長

=理事=

橋本 礼子 愛知県教育委員会 生涯学習スポーツ監
水谷 知加子 愛知県 県民生活部次長
半澤 重信 建築家
小澤 正俊 大同特殊鋼株式会社 相談役
瀧 昌之 瀧定名古屋株式会社 代表取締役社長
滝 茂夫 タキヒヨー株式会社 代表取締役会長
藤崎 博也 東京大学 名誉教授
安井 香一 東邦ガス株式会社 代表取締役会長
白石 好孝 東陽倉庫株式会社 代表取締役会長
豊島 半七 豊島株式会社 代表取締役社長

| | |
|-------------------|--------------------------|
| 清水 順三 | 豊田通商株式会社 相談役 |
| 金田 慎也 | 名古屋市教育委員会 教育次長 |
| 早瀬 弘親 | 名古屋市美術館 館長 |
| 山内 正照 | 名古屋市観光文化交流局 文化歴史まちづくり部長 |
| 内川 尚一 | 名古屋商工会議所 常務理事・事務局長 |
| 松下 裕秀 | 名古屋大学 理事・副総長 |
| 加藤 延夫 | 名古屋大学 名誉教授 |
| キャサリン・グレイザー・ゲッチェル | ボストン美術館 副館長 |
| 藤森 利雄 | 名港海運株式会社 代表取締役社長 |
| 梅林 正 | 公益財団法人名古屋国際芸術文化交流財団 統括部長 |
| =監事= | |
| 小林 博司 | 愛知県 県民生活部 県民総務課長 |
| 石原 真二 | 石原総合法律事務所 所長 |
| 安藤 重良 | 名古屋商工会議所 監事 |

3. 職員

| | | |
|-----------|--------|-------------------------|
| 特別顧問 | | 吉田 俊英 |
| 統括部長（兼理事） | | 梅林 正（株式会社三菱東京UFJ銀行より出向） |
| 営業推進部 | 部長 | 小嶋 浩嗣（名古屋商工会議所より出向） |
| | 係長 | 水野 聖子 |
| 総務企画部 | 課長 | 江坂 聡子（名古屋商工会議所より出向） |
| 広報部 | 部長 | 那須 晶子 |
| | 課長 | 渡邊 和明（名古屋鉄道株式会社より出向） |
| | 係長 | 佐々木 絵美 |
| 学芸部 | 部長・学芸員 | 鏡味 千佳 |
| | 学芸員 | 宮永 郁恵 |
| | 学芸員 | 山口 由香 |
| | 特任学芸員 | 井上 瞳（非常勤） |

4. 評議員・役員の異動

(1) 評議員の異動

平成29年4月19日

（新任）愛知県 県民生活部長

鳥居 保博

（退任）愛知県 県民生活部長

川島 毅

(2) 理事の異動

平成29年4月19日

（新任）愛知県教育委員会 生涯学習スポーツ監

橋本 礼子

（退任）愛知県教育委員会 生涯学習スポーツ監

永井 勇一

(新任) 愛知県 県民生活部次長 水谷 知加子
 (退任) 愛知県 県民生活部次長 齋木 博行

(新任) 名古屋市教育委員会 教育次長 金田 慎也
 (退任) 名古屋市教育委員会 教育次長 西淵 茂男

平成 29 年 6 月 7 日

(新任) 公益財団法人名古屋国際芸術文化交流財団 事務局長 藤田 健一
 (退任) 公益財団法人名古屋国際芸術文化交流財団 事務局長 清水 泰晴

(新任) 公益財団法人名古屋国際芸術文化交流財団 統括部長 梅林 正

平成 29 年 8 月 4 日

(新任) 名古屋市美術館 館長 早瀬 弘親
 (退任) 名古屋市美術館 館長 横井 政和

(3) 監事の異動

平成 29 年 4 月 19 日

(新任) 愛知県 県民生活部県民総務課長 小林 博司
 (退任) 愛知県 県民生活部県民総務課長 上田 章博

5. 職員の異動

(新任) 特別顧問 吉田 俊英
 (新任) 学芸部・特任学芸員 井上 瞳 (非常勤)
 (退職) 学芸部・係長 学芸員 柳澤 宏美
 (退職) 学芸部・学芸員 三輪 祐衣子

6. 評議員会・理事会開催状況

(1) 評議員会

| 日 時 | 場 所 | 議 件 |
|----------------------------------|--------------------|---|
| 臨時評議員会 平成 29 年 4 月 19 日 | 決議の省略による | <ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任に関する件 ・理事の選任に関する件 ・監事の選任に関する件 |
| 第 13 回定時評議員会 平成 29 年 6 月 7 日 | 名古屋都市センター 「ホール」 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度事業報告に関する件 ・平成 28 年度収支決算に関する件 ・理事・監事の選任 |
| 臨時評議員会 平成 29 年 8 月 4 日 | 決議の省略による | <ul style="list-style-type: none"> ・理事の選任に関する件 |
| 第 14 回定時評議員会 平成 30 年 3 月 30 日 | 名古屋都市センター 「ホール」 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度事業計画に関する件 ・平成 30 年度収支予算に関する件 ・経営安定化基金の取り崩し準備金への指定 および運用財産への繰り入れに関する件 |

(2) 理事会

| 日 時 | 場 所 | 議 件 |
|---------------------------------|--------------------|---|
| 臨時理事会 平成 29 年 4 月 12 日 | 決議の省略による | ・ 臨時評議員会を開催する件 ＜評議員会の目的事項＞ ・ 評議員の選任に関する件 ・ 理事の選任に関する件 ・ 監事の選任に関する件 |
| 第 13 回通常理事会 平成 29 年 5 月 23 日 | 名古屋都市センター 「ホール」 | ・ 平成 28 年度事業報告に関する件 ・ 平成 28 年度収支決算に関する件 ・ 情報公開規程の改正に関する件 |
| 臨時理事会 平成 29 年 6 月 7 日 | 決議の省略による | ＜提案内容＞ ・ 代表理事の選定 |
| 臨時理事会 平成 29 年 7 月 26 日 | 決議の省略による | ・ 臨時評議員会を開催する件 ＜評議員会の目的事項＞ ・ 理事の選任に関する件 |
| 臨時理事会 平成 30 年 1 月 24 日 | 決議の省略による | ・ 第 14 回定時評議員会を開催する件 ＜評議員会の目的事項＞ ・ 平成 30 年度事業計画に関する件 ・ 平成 30 年度収支予算に関する件 ・ 経営安定化基金の取り崩し準備金への指定 および運用財産への繰り入れに関する件 他 |
| 第 14 回通常理事会 平成 30 年 3 月 29 日 | 名古屋都市センター 「ホール」 | ・ 平成 30 年度事業計画に関する件 ・ 平成 30 年度収支予算に関する件 ・ 経営安定化基金の取り崩し準備金への指定 および運用財産への繰り入れに関する件 ・ 個人情報保護規程の改定に関する件 |

附属明細書について

平成 29 年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 30 年 5 月

公益財団法人 名古屋国際芸術文化交流財団